

記入見本

現在の受給者を記入してください。

特例給付
額改定認定請求書
額改定届

※受付確認年月日	提出年月日
	令和 3 ・ 5 ・ 11
	※認定番号
	※宛名番号

受給者	氏名 (法人名等)	こが たろう 古河 太郎		住所 (法人の主たる事務所の所在地)	306-〇〇〇〇 古河市〇〇〇〇-〇〇 自宅電話0280-〇〇-〇〇〇〇 携帯電話〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
	性別	男 女	職業	ア. 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者	生年月日	昭和 平成 57 ・ 5 ・ 5
増 額 また は 減 額 の 別				増 額 ・ 減 額		
増 額 又 は 減 額 の 原 因 と な る 児 童						
ふりがな 氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所	児童を監督・保護していれば「有」に○をつけてください。
こが こじろう 古河 小次郎	子	令和 3 ・ 5 ・ 1	同 別	年 月	同上	有 無 関係 する場合に○
児童と同居しているときは「同」に、別居しているときは「別」に○をつけてください。				同・別	年 月	有 無 同一・維持
児童が海外留学のため出国している場合は出国した年月を記入してください。				同・別	年 月	有 無 同一・維持
児童が請求者自身の子でない場合は「維持」に○をつけてください。				同・別	年 月	有 無 同一・維持
あてはまる箇所に○をつけてください。				同・別	年 月	有 無 同一・維持
増 額 し た 理 由				ア. 出生 イ. その他 ()		
減額した理由	ア. 死亡した イ. 監護しなくなった ウ. 生計を同じくしなくなった エ. 生計を維持しなくなった オ. 日本国内に住所を有しなくなった (留学を理由とするものを除く) カ. 未成年後見人でなくなった キ. 父母指定者でなくなった (児童の生計を維持する父母等の帰国) ク. 里親等への委託又は児童福祉施設等への入所 ケ. 児童と同居しなくなった (単身赴任の場合を除く) コ. その他 ()					
事由の発生した年月日				令和 3 ・ 5 ・ 1		
備考	※認定・改定・却下 年月日		※認定・改定・却下 年月日		※手当月額	
児童が出生した日等を記入してください。				3歳未満分 3歳以上小学校修了前分 中学生分 計		

- ◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。
- ◎ ※印の欄は、記入しないでください。
- ◎ 字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。
- ◎ 記名押印に代えて、署名することができます。